

『明石市は子育てを全力で応援します』

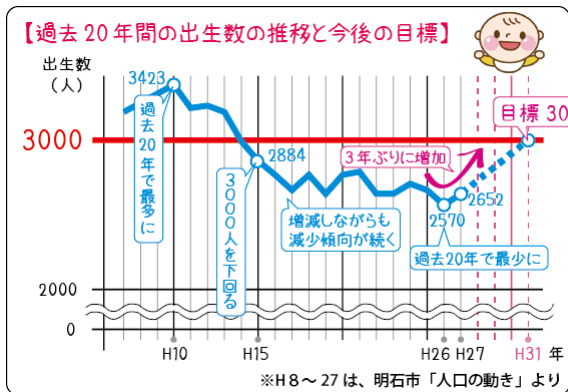
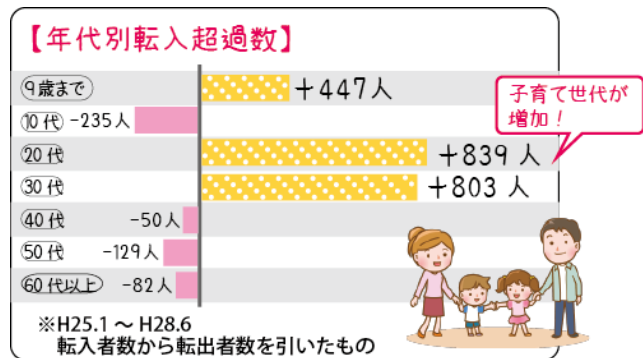
～ 負担軽減 と 待機児童対策 ～

市は、子どもがほしいと思う人が経済的な理由で断念することなく、その希望が叶うよう、子育て世帯の経済的な負担を大幅に軽減する取り組みを進めています。また、保育所の待機児童解消のための新たな取り組みとして、私立保育所への支援を強化し保育士確保と保育の質の向上につなげます。

■ 背景

○子育て世代の人口が増えています

人口増加を続ける明石市では、特に20代、30代の子育て世代と9歳までの子どもの人口が増えています。



○出生数3000人を目指しています

市の出生数は、平成26年に過去20年で最少となりましたが、平成27年には回復に転じました。

この流れを加速させ

平成31年までに、

「赤ちゃん3000人」

を目指します。



○子どもを持たない理由の約6割がお金の問題

国の調査では、夫婦が理想とする数の子どもを持たない理由として、最も多いのが「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」で、全体の60.4%となっています。

予定子ども数が理想子ども数を下回る理由

子育てや教育にお金がかかりすぎるから	60.4%
高年齢で生むのはいやだから	35.1%
欲しいけれどもできないから	19.3%

※第14回出生動向基本調査(厚生労働省)より(複数回答)

経済的な負担軽減が重要に

■ 現在の市の取り組み

●子育ての経済的な負担を大幅軽減

①第2子以降の保育料無料化 関西初 資料1

市内保育所の保育料は1人当たり平均で年間約27万円、最大では75万円になる家庭もあります。

対象世帯	市内在住の世帯
対象施設	市内・市外にある保育所など
実施時期	平成28年9月分の保育料から

②中学生までの医療費無料化 県内トップクラス (10万人以上の市)

県内の人口10万人以上の市の中では依然としてトップクラスの水準です。

③公共施設の入場料無料化

・天文科学館 ・文化博物館 ・明石海浜プール

●保育所受入枠1000人増の大幅拡充 県内最大増 (H28度)

市内の認可保育施設の定員は4410人で、372人の待機児童がいます。子どもの数の増加に加えて、第2子以降の保育料無料化によりこれまで以上に利用希望者が増えることが想定されます。市では、待機児童ゼロを目指して平成29年4月までに保育所受入枠1000人増の大幅拡充を行います。



追加緊急対策を実施

■ 今後の取り組み

●追加緊急対策 ～補正予算議案を9月議会に提出予定～

保育所受入枠拡大は、施設面での準備が着々と進んでいます。そんな中、保育の質の向上を図るためにもさらなる保育士の確保が重要な課題となります。市は、保育士確保のため私立保育所への支援を強化するとともに、待機児童解消までの緊急的な支援として認可外保育施設利用世帯と在宅子育て世帯への経済的な支援を行うため、補正予算議案を9月議会に提出予定です。

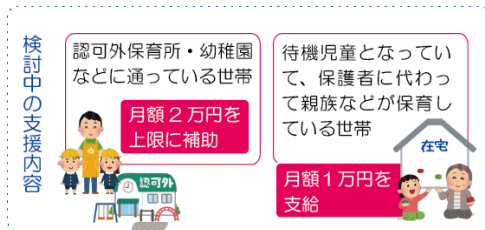
①私立保育所への支援強化 資料2

▽新卒・潜在保育士に採用一時金を支給 … 3年間で最大30万円支給 県内初

▽新規採用保育士のための宿舍借り上げ費用を助成 … 月額上限8万2000円助成 県内初

②認可外保育施設利用世帯・在宅子育て世帯への支援 関西初 ※年齢制限無し 資料3

保育料無料化の目的は、認可保育施設を利用しているすべての世帯の負担の軽減です。しかし、待機児童がいる今、「やむを得ず認可外保育施設を利用している人」や「待機児童となっていて自宅で親族などが子育てをしている人」が多くいます。これらの世帯は、保育料無料化の対象になりません。そこで市は、待機児童が解消するまでの緊急的な支援として、これらの世帯への補助金などの支給を検討しています。年齢制限の無い在宅子育て世帯への支援は関西で初めての取り組みとなります。



そのほかにも

▽保育士就職フェアの開催 … 10/2(日) ホテルキャッスルプラザ

▽私立保育所見学バスツアーの実施 … 8/20、25、9/23、29 市内の私立保育所を見学